

## 【第 65 回セミナー受講者からの感想・ご意見】

2022 年 11 月 3 日（木） 15 : 30 ~ 18 : 30

出島メッセ長崎 2 階 第 1 会場「コンベンションホール 2」

### ■ 感想

- 大変勉強になりました。わかりやすい講義でした。（多数）
- いつも症例検討が勉強になります。専門の先生の解説がありがたいです。
- 参考になりました。業務にもいかしていきたいです。（多数）
- 新しい TDM の話や、結核性腹膜炎など興味深い話がきけました。
- 今後の臨床業務に活かせる内容が多かったです。
- 丹羽先生の話、わかりやすかったです。
- 会場も広く良かったです。
- 症例検討から入るのは、緊張感・集中力を伴って好きです。
- 新 TDM ガイドラインの再確認が出来ました。
- TDM 解説はポイントがクリアカットで大変分かりやすかったです。
- ガイドラインの解説も参考になりました。
- 検査の感度、特異度をもう一度整理しておく必要があると感じました。
- 特に結核性腹膜炎は 2 例経験しており、いろいろ思い出しました。
- 弊院における VCM TDM は今現在トラフ値による解析を行っているが、腎障害を起こさないためにも AUC での解析を、重症患者を中心に行っていきたいと思いました。ただ他スタッフ、主に採血を行う看護師の理解も同様に得ていけるよう努力しなければならないと感じました。
- 症例提示のディスカッションはとても勉強になります。自身の意見と共感できると、今後の治療に自信が持てます。

### ■ 症例について

- 症例検討において、抗菌薬を選択した場合、抗菌薬の投与期間は示されますが、実際の用法・用量が記載されないことが多い印象です。投与設計上の勉強になりますので、是非抗菌薬の用法用量も付記していただくと有り難いです。
- 私は泌尿器科ですので、「尿路感染症」という診断名には常に違和感があります。男性で発熱があれば APN なのか、前立腺炎なのか、精巣上体炎なのか考えずに治療するのは問題があるからです。研修医の教育等でもぜひ尿路のどこの感染か考えてから治療する様に指導いただきたいと存じます。
- 事例提示において丹羽先生のご発言から薬剤師目線からは感受性だけでなく感染組織委厚生を考慮した de-escalation や体重・腎機能に応じた投与量提案を行うことが重要であると感じました。